

# 紙芝居の効果的な活用

<p>学校名 住吉台小学校 小 学校 1・2・3 年版</p>	<p>氏名 齋藤栄子 単元名 動物たちのいのち P 5 4～5 5 教科・領域名 道徳 時間 4 5 分</p>
<p>主な学習活動 (実際に行った活動)</p>	<p>指導の実際</p>
<p><b>1 導入</b>八木山動物公園のカバの写真を見せる。震災の動物園も大変だったことを知らせる。</p>	
<p><b>2 展開前段。</b>資料を紙芝居にして読み聞かせ、子供たちに考えさせる。</p>	
<p>(1) 暗い部屋でじっとしているカボはどんな気持ちだろう。 ・こわいな・早くあつたかいプールに入りたいな・早く友達に会いたいな。</p>	
<p>(2) みんなに助けてもらったカボはどんな気持ちになったでしょう。</p>	
<p>・ありがとう・ごはんがおいしいよ・みんながやさしくしてくれたからもつ少し我慢が</p>	
<p>(3) ガラスの向こうのみんなのこにこ笑顔を見てカボはどんなことを思ったでしょう。</p>	
<p>・にぎやかになってうれしいな・もっともと元気になるよ・普通になってわくわくするよ。</p>	
<p><b>3 展開後段</b></p>	
<p>カポのように毎日の生活で元気で幸せと思うときはどんなときでしょう。 ・給食を食べるとき・友達と遊ぶとき。一緒に遊ぼうと誘われるとき。 ・勉強をするとき。</p>	
<p><b>4 終末</b></p>	
<p>みんなが楽しく生活している様子のDVDを見せる。「命を大切にする。」ということごはんをいっぱい食べたり元気に遊んだりすることであることを確認させる。</p>	
<p>紙芝居で資料を読み聞かせ。みんなじっくり聞いていました。</p>	
<p>中心発問は書く活動で。</p>	
<p>授業後の振り返り</p>	
<p>震災のときの八木山動物公園の様子を知らせながら「人間」だけでなく「動物」も大変だったことを話す必要がある。たくさんの人の助けをもらって元気になったことをしっかり感じ取らせる。低学年の「命を大切にする」とはごはんを食べること、元気に遊ぶことでいつもの生活を送ることが「命を大切にする」ということに気付かせたい。</p>	<p>授業後の子供たちの感想</p>
<p>授業を終えた子供たちの中からは「今日の給食を残さないで食べるね。」と言いに来た子供がいた。それを聞いた周囲の子供も「ぼくも、私も・・・」とみんなで言っていたのが印象的だった。</p>	